

## 事業概要（市区町村等の日本語教育の取組への支援）

## &lt; 記載例 &gt;

(1) 応募者情報 ※記載が不要な青字箇所は提出時に削除してください。

団体名	〇〇市
-----	-----

## (2) 事業の概要

1 事業の名称	〇〇市における地域日本語教育体制整備事業
2 目的等	<p>○目的</p> <p>市内において、日本語学習を希望する外国人が、居住地や環境を問わず、一定の質が担保された日本語学習の場にアクセスできるような日本語学習環境を整備する。</p> <p>○実施方法等</p> <p>市内の日本語教室では、県の日本語学習支援者人材を活用。教室運営業務については、〇〇市国際交流協会に委託。地域の〇〇〇〇〇と連携して実施する。</p>
3 事業の期間	令和7年 4月 1日 ~ 令和8年 2月 28日 (11 箇月間)
4-① 事業の詳細	日本語教室を実施する場合の予定教室数： 新規教室数（ ○ ） ・ 既存教室数（ ○ ）
活動 1	<p>【種別及び事業名称】 生活に役立つ入門日本語教室【試行】</p> <p>【新設・既設の別】 <b>新設</b> ・ 既設 （※日本語教室の場合は選択してください。）</p> <p>【目標】 来日したばかりの人や、長年日本に暮らしているが日本語を学ぶ機会がなかった人に対する日本語指導を行い、日本語学習機会の提供を行うとともに生活に困らない程度の日本語能力の獲得を支援する。</p> <p>【実施回数】 ○回（1回○時間）</p> <p>【受講者数】 ○人（○人×○箇所）</p> <p>【実施場所】 〇〇市公民館、〇〇ふれあいセンター、〇〇市立図書館</p> <p>【受講者募集方法】 開催対象となる○箇所の市区町村の広報誌や HP で募集する。</p> <p>【内容】</p> <p>標準的なカリキュラム案等を活用し、入門レベルの日本語学習者を対象とした日本語教室（全 10 回）を開催する。指導は日本語教師、補助は地域住民から募った日本語学習支援者が行う。</p> <p>具体的な指導内容：</p> <p>第1回 オリエンテーション・レベルチェックテスト</p> <p>第2回 日本語の文字（ひらがな・カタカナ）・あいさつに役立つ日本語</p> <p>第3回 買い物に役立つ日本語</p> <p>第4回 病院で役立つ日本語</p> <p>第5回 レストランで役立つ日本語</p> <p>第6回 市役所で役立つ日本語</p>

	<p>第7回 地域で暮らすときに役立つ日本語 第8回 銀行で役立つ日本語 第9回 学習のふりかえり 第10回 成果発表会</p> <p>【開始した月】 ○月 【講師】 ○人（うち、日本語教師 ○人）</p> <p>【関係機関との連携】 （※該当がある場合、「機関名」と「連携内容」を記載） ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>「日本語教育の参照枠」や、生活 Can do 等の活用の有無：有</p>
--	--

活動2	<p>【種別及び事業名称】 ボランティアによる日本語教室 【新設・既設の別】 新設・<b>既設</b>（※日本語教室の場合は選択してください。） 【目標】 既存のボランティアによる日本語教室を支援することで、幅広い日本語学習機会を確保する。 【実施回数】 ○回（1回○時間） 【受講者数】 ○人（○人×○箇所） 【実施場所】 県内日本語教室 【受講者募集方法】 各ボランティアグループ等が独自で募集活動を行う。 【内容】 ボランティアが地域に在住する外国人を対象に、それぞれの課題意識に基づき日本語指導を行う。 【開始した月】 ○月 【講師】 ○人（うち、日本語教師 ○人） 【関係機関との連携】 ※該当がある場合、「機関名」と「連携内容」を記載 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>「日本語教育の参照枠」や、生活 Can do 等の活用の有無：無</p>
-----	---

4-② その他の取組

日本語教室を実施する場合の予定教室数： 新規教室数（○） ・ 既存教室数（○）

(取組⑩) 地域日本語教室で役立つ「やさしい日本語」講座

地域日本語教室に参加する者や外国人住民の周囲の人たちが、日本語学習者の日本語学習を促進するための方法として身に付けておくとよい「やさしい日本語」について学ぶための講座を、年に○回開催する。

【開催時期】 東部地域 ○年○月上旬 00:00～00:00（○時間）  
西部地域 ○年○月上旬 00:00～00:00（○時間）

【会場】 東部地域 ○○ホール／西部地域 ○○ホール

【対象】 日本人住民等○名

<p>【参加者】2地域の合計 一般から〇名</p> <p>【講師】〇〇 〇〇氏</p> <p>【内容】 ・日本語教室ってどんな場所？</p> <p>・やさしい日本語の作り方</p> <p>・やさしい日本語の活用事例紹介</p>				
5 今年度の本事業における計画・予定値を実数で記載				
日本語教育人材育成について	研修実施箇所数	〇〇箇所	研修実施回数	〇〇回
日本語教室について	教室実施箇所数	〇〇箇所	教室実施回数	〇〇回
	新設された日本語教室数	〇〇	既設の日本語教室数	〇〇
	日本語教師配置の教室数	〇〇		
	日本語教室受講者数	〇〇名		
6 取組予定（主な取組の実施スケジュールを記載）				
令和7年4月	開校準備・募集			
5月	1期教室開校			
6月	・・・			
7月	・・・			
8月	やさしい日本語講座			
9月	2期教室開校			
10月	・・・			
11月	・・・			
12月	やさしい日本語講座			
令和8年1月	次年度計画			
2月	実績報告			
3月				
7 事業実施によって期待される効果				
外国人住民が生活に必要な日本語を身につけられる。また、地域社会とつながりを持つことができる。				